

令和2年3月19日
総務文教委員会資料
教育委員会

目 次

【報告事項】

- 1 富山市子ども読書活動推進計画（第四次）の策定について …… 1 頁

1 富山市子ども読書活動推進計画（第四次）の策定について

[図書館]

(1) 策定の経緯

「子どもの読書活動の推進に関する法律」による各自治体での計画策定努力義務を受け、平成27年に策定した「富山市子ども読書活動推進計画（第三次）」の5か年が終了するため、「富山市子ども読書活動推進計画（第四次）」を策定するもの。

(2) 内容

ア. 基本的な考え方

- ① 子どもの発達段階に応じた読書活動を推進し、読書活動の意義や重要性について広く普及・啓発するよう努める。
- ② 家庭・地域・図書館、学校を通じた社会全体で子どもの自主的な読書活動の推進を図るような取り組みを進める。

イ. 第四次案の特徴

- ① 発達段階（乳幼児期・小学生期・中学生期・高校生期）ごとの読書傾向と取り組み事例について記載した。
- ② 子どもの読書への関心を高めるための取り組みの促進（子ども司書・ビブリオバトルなど）について記載した。

(3) 策定スケジュール

ア. 令和元年11月1日 第1回懇話会の開催（懇話会委員の意見聴取）

富山市子ども読書推進計画（第四次）懇話会 名簿

氏名	所属団体等
生田 美秋	高志の国文学館 事業部長（絵本学会理事）
高島 桂二	水橋中学校長（富山市立図書館協議会委員）
深山 敦子	富山市PTA連絡協議会特別委員会「良書をすすめる会」委員長
堀 るみ子	音川小学校長（小学校教育研究会国語部長）
松崎 訓子	富山市立図書館よみきかせの会代表

イ. 令和元年11月20日～12月5日 パブリックコメント実施

ウ. 令和2年1月20日 第2回懇話会の開催

富山市子ども読書活動 推進計画 (第四次)

概要

基本的な考え方

読書を通じて、子どもは読解力や想像力、思考力、表現力など、生きていくための基礎的な能力を養い、多くの知識を身につけたり、多様な文化を理解したりします。また、自ら学ぶ楽しさや新たに知る喜びを体得し、更なる探求心や真理を求める態度が培われます。

読書は、自ら考え、行動し、主体的に社会に参加してゆくために必要な知識や教養を身につける重要な契機となります。強制されるのではなく、自主的な読書活動が、人格の完成と能力の伸張、主体的な社会参加を促すものとして、民主的な開かれた社会の発展には不可欠なものです。

この度、国および県の第四次計画を受け、富山市の第三次計画の基本的な考え方を引き継ぎながら、令和2年度から令和6年度の5年間の計画を実施期間とする「富山市子ども読書活動推進計画（第四次）」を策定します。

1. 子どもの発達に応じた 読書活動の推進

生涯にわたる読書習慣の基礎を育むには、子どもの発達段階に応じて読書体験を深めることができるような機会を提供するとともに、そのための環境の整備が必要です。

また、子どもの自主的な読書活動を推進する社会的気運を醸成するため、読書活動の意義や重要性について、広く普及・啓発するよう努めます。

2. 家庭・地域、図書館、学校を 通じた社会全体での取組の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭・地域、図書館、学校などが緊密に連携し、相互に協力することが必要です。特に、子どもが読書習慣を身につけるまでは、子どもの興味や関心を尊重しながらそれぞれが担うべき役割を十分に果たし、読書習慣が身につくまで子どもたちの成長に従い読書活動ができるよう、社会全体の協力が必要です。

子ども読書活動推進関係機関ネットワーク図

